

第20回 健康・医療戦略参与会合 資料

2021年6月9日

神奈川県知事 黒岩祐治

未病とは

健康

病気

健康

未病

病気

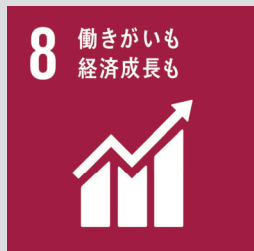
未病を改善する

■ 3つの取組



最先端医療・ 最新技術の追求

未病の改善



2つのアプローチを融合

健康長寿

新たな市場・産業の創出

未病を見える化する「未病指標」

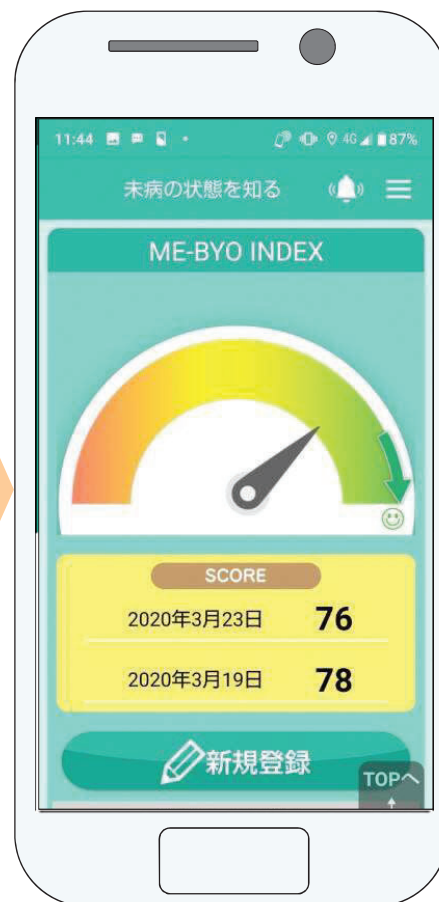
入力



15項目

- 性別
- 年齢
- BMI (身長・体重)
- 血圧 (収縮期)
- 認知機能領域
- Mini-Cog (3問)
- 生活機能領域
- ロコモ5 (5問)
- 歩行速度
- メンタルヘルス・ストレス領域
- 音声 (MIMOSYS)

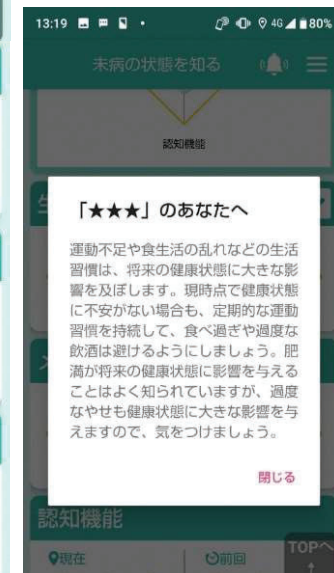
結果



スクロールすると
領域ごとにも表示



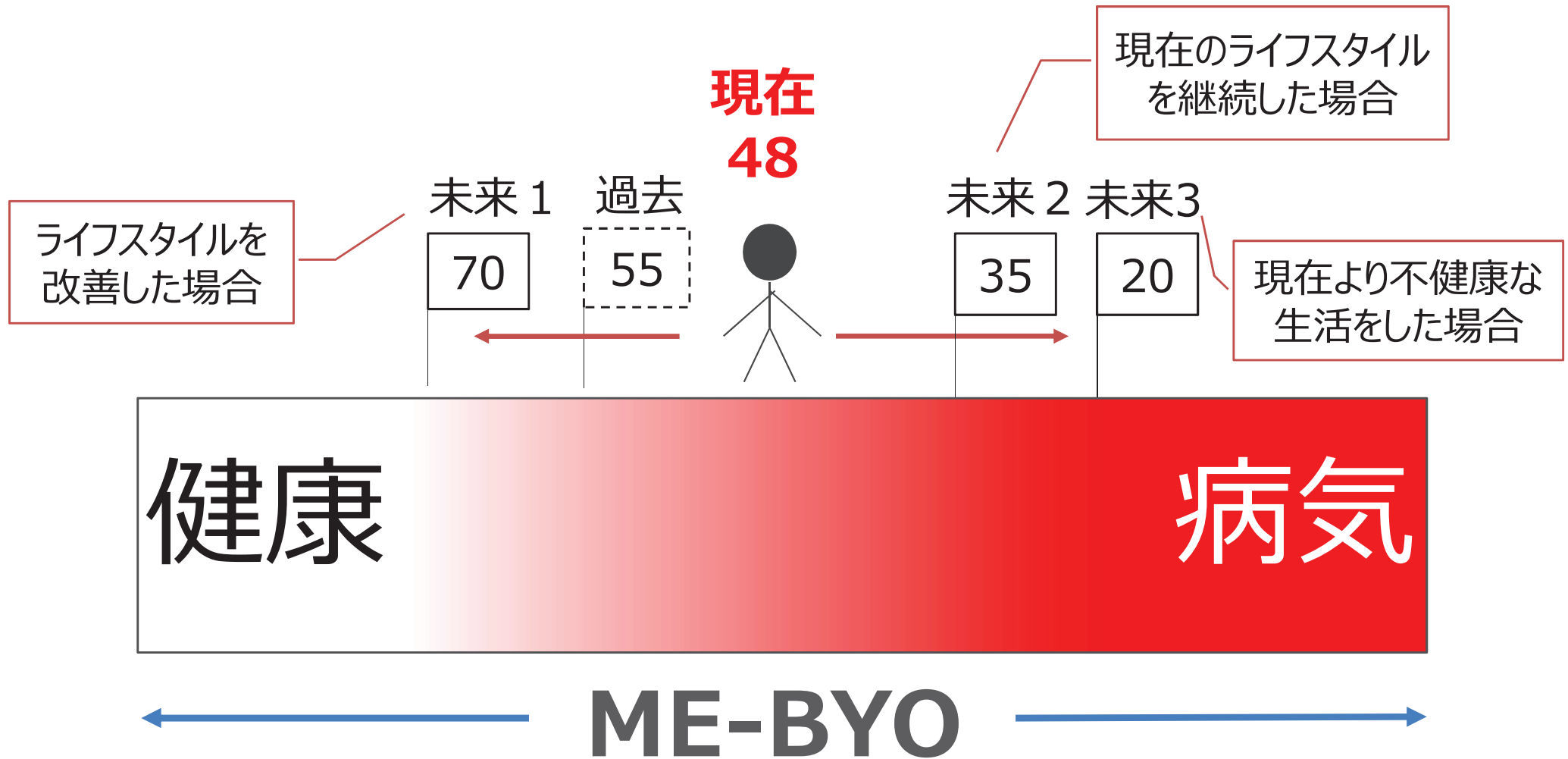
領域をタップし
結果に応じた
アドバイスを
表示



アプリケーション
【マイME-BYOカルテ】

未病指標の未来予測機能（構築中）

ライフスタイル改善に向けた取組が、未来に与える影響を予測



未病指標の活用（個人視点による「これからの健康投資」）

これまでの健康投資

企業・団体の
社員・職員の
健康の維持向上
に向けた取組
(金銭的投資)



経済的 利益

資本市場等での
企業評価の向上
健康保険財政
の適正化
など

これからの健康投資

未来が予測できることによって・・・

個人が積極的に資金・時間を
健康に投資できるようになる



経済的 利益

商品・サービス
購入時の割引
保険料率の優遇
など

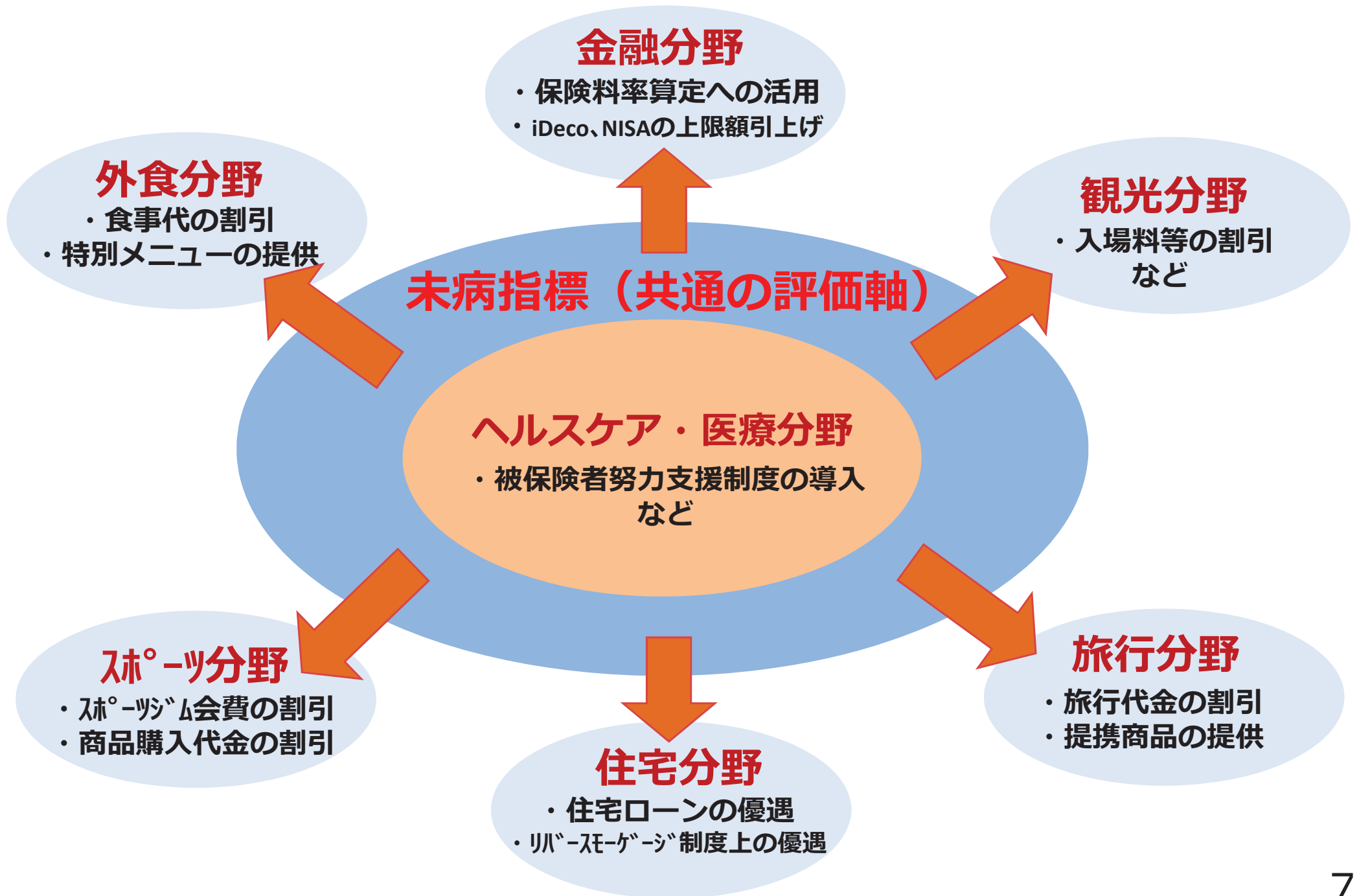
将来の 健康

現在から将来に
かけての
健康状態の改善

満足度

取組自体
がもたらす
充実感
そう快感

これからの健康投資による市場の拡大



未病指標の精緻化

【総合的未病指標】 （簡易指標）



15項目で算出、2020年3月末
からマイME-BYOカルテで活用

検証

【データ収集・調査】

- 簡易指標のエビデンスを支える
- 採血等と併せ、生活習慣など多岐にわたるアンケートも実施
- 既存のデータと新たなデータを活用し、検証する

アカデミアで推進

連携

【個別未病指標】 （詳細指標）

- 機能別やテーマ別（メタボ、フレイル、認知症、ストレス等）指標
- 個人の未病改善に向けた介入に活用

民間事業者等により開発・販売



これまでの常識

高齢者は
支えられる存在

コストモデル



発想の転換

高齢者は
社会的に価値ある存在

バリューモデル



高齢者を価値ある存在として捉える

私の生きがい

コミュニティ

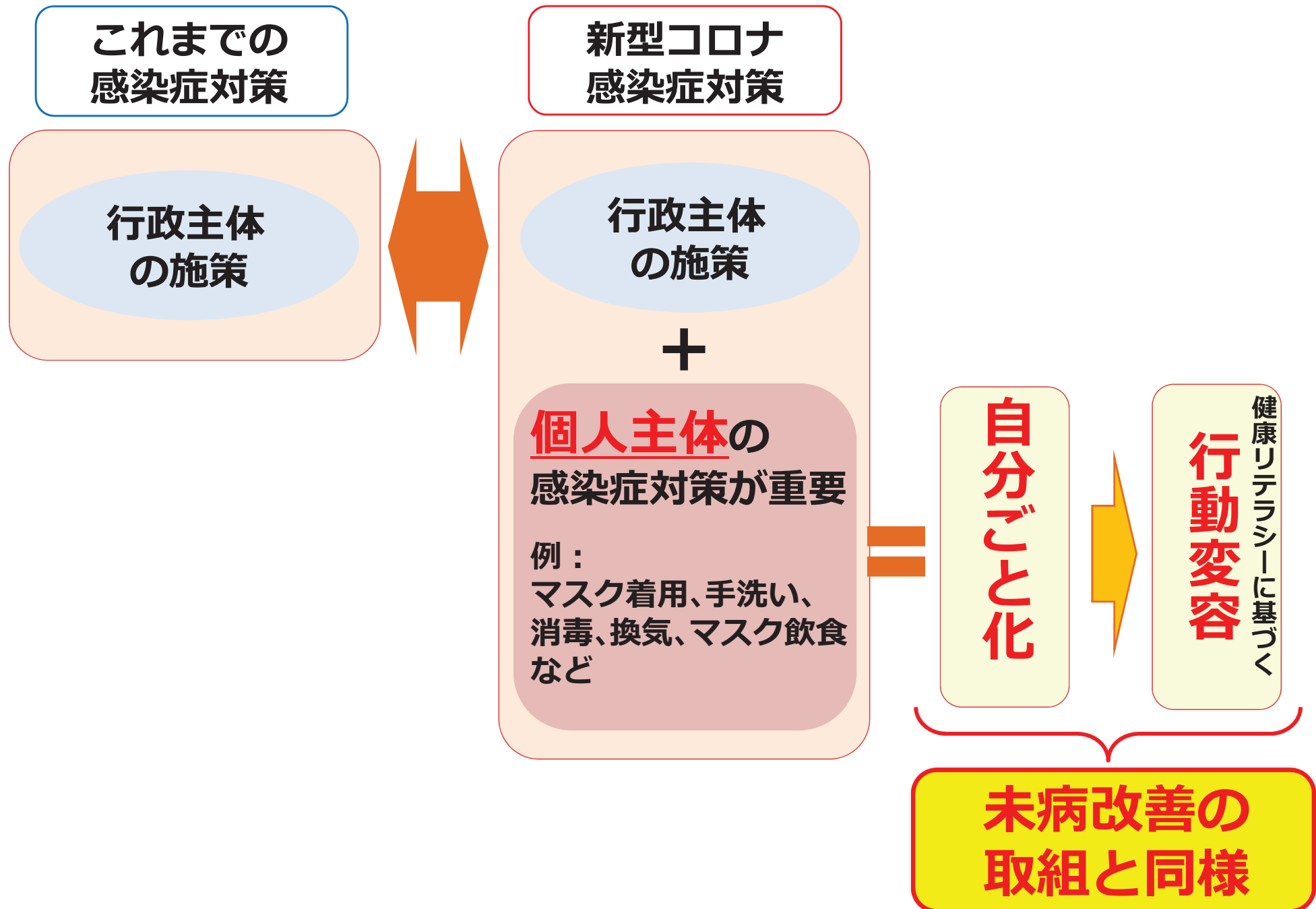
働き手
消費者



Vibrant "Inochi"



コロナ禍における未病改善の取組の重要性



① 新型コロナウイルス感染症の感染リスク、重症化リスクの軽減

生活習慣病などの基礎疾患があると感染率、重症化率が高まる

② 新生活様式における未病改善の重要性

ステイホーム生活の一般化で、ストレスやメタボ、高齢者のフレイルや認知症が進行

コロナ禍においても未病改善の取組が重要